

フ　　フ　　フ

ようやくにして高知に着いたのです。ところが高知は大雨、大風で、川の水があふれて道路は水びたしになっていたので。その水びたしの中を自動車で走って行き、会場となっていた市の公会堂に駆けつけ、ようやくして講演の時間に合ったのでした。公会堂には中村先生はもちろん、市長さんまでおられて迎えていただいたのです。そしてその大雨の中にわざわざ集まっていた何十名かの人々に対して無事講演をすましたのでした。

私は中村先生に次々に私の行動を電報でお知らせしていたのでした。大阪に来た、神戸に着いた、岡山に来た、宇野に来た、高松に渡った・・・などと至るところで次々に電報で私の行動をお知らせしたので、それは先生が非常に喜んでおられ、市長さんも感心しておられたそうでした。

それから一週間ぐらい講習会が開かれたのです。その講習会で最も印象に残ったのは、市川栄徳という警察官のことでした。この人はまだ巡査をしておられましたが、八里の道、今の三十二キロを毎日自転車で往復して受講していた熱心な人でしたから、上手になられ、「自分一人が高知県の警察界にいるため、どんなに警察界のために貢献したかわからない」といつて手紙をよこされたことがあったのでした。そのくらいよくできる人でしたので、上司の人から認められずぐ警部補になり、東京にある警察大学にも入校され、署長さんになっておられました。その後私が高知に行ったときは、惜しいかな亡くなっておられました。私が話の材料にしていた人でしたが、惜しいことでした。